

アメリカ：コロラド州立大学(CSU)

木村英雄・美恵（京都府木津川市）

期間：2012年7月25日～10月17日（85日間）

コロラド フォートコリンズ

紺碧の空、カンカン照り、乾いた大地、デンバー空港から北100km フォートコリンズ（FC）まで、ジョン・ウェインの西部劇「駅馬車」の世界を想像しながらルンルン気分。FCは町の中に公園があるというより公園の中に街があった。灼熱の高地ながら緑の木陰は心地よいやすらぎを感じ、想像外の嬉しい誤算だった。真夏の2カ月余り、広大な緑の公園トレックを楽しみ、日本脱出避暑生活を送るという所期の目的は100%満喫できた。町の北は北東方向にプーダー川流域、川岸に沿って森と林が続く遊歩道トレイル。西は南北に12kmの細長いホーストゥース貯水湖があり、そこから西はロッキー山系まで野生自然公園だ。東は地の果てまで大平原だろう。貯水湖からプーダー川に流れる名もなき小川沿いは、美しい心和む森林トレイル。

何度もトレッキングを楽しんだお気に入りの遊歩道。途中には広大な芝公園が5つもあり、別荘のようなおしゃれな家が点在している。FCはサイクリングの盛んな街。町中を縦横に8ルート of サイクリング舗装遊歩道があり、全長は80kmに及ぶ。全て踏破するつもりが叶わず、次回の目標となった。行き交う人は、ハロー、ハイと声を掛け合い何ともフレンドリー。FCは銃をぶっ放す危険な雰囲気など微塵も感じられない、自然豊かな平和な学研都市だ。



プーダー川サイクリング

CSU

① キャンパス

北門を入り、萌ゆる緑のオーバル広場は、そよ風が通り抜ける憩の園。ベビーカーを押す母親、犬を連れ

た近隣住民。女学生は、タンクトップに短パン姿。スケートボードに乗った男子学生がさあーっと通り過ぎる。なるほど広大なキャンパス内の移動には自転車やスケートボードがちょうどよい。学生センター周辺は、純朴で人懐こい学生たちがところ狭しと行き交い活気がある。



CSU キャンパス

CSU センターポールに星条旗が翻り、町中の至るところにも星条旗が見られ、国家を意識した。世界中で拒絶、反対するのは日本だけか。国旗や国歌が悪いわけでもない、それが歴史だろうに、と思う。

驚いたことに、キャンパスに警察署と軍施設がある。警察は日々巡回警備を行っている。陸軍海軍士官養成課程が併設され、迷彩服姿の学生や空軍ユニフォーム姿の学生が一般学生と一緒に受講している。談笑している学生たちのすぐ横で、軍隊式行進練習が行われているのが興味深い。日本語クラスのP君も、木曜日は階級章付きの空軍制服を着ているが、何も特別なことではないようだ。各人が銘々の役割を担っているという使命感を感じた。

② 日本語の授業

◇ 1年：25名3クラス 50分授業週5日

「こんにちは」、「おはようございます」などのあいさつから始まり文字の習得へと進んだ。歌やジェスチャーなどを教材に取り入れた楽しい授業が多かった。

◇ 2年：21名1クラス、12名1クラス 50分週5日

丁寧体と普通体、直接話法と間接話法などを学習。日本の温泉、高校の校則、日本の住居などが教材。どちらのクラスも元気がよく、活発であった。

◇ 3年：19名1クラス 50分週3日

ほとんど日本語のみで授業が進められる。敬語の使い方、書き言葉と話し言葉の違いなどを学習。日本の地理・文化遺産・昔話などが教材。

◇ 4年：15名1クラス 75分週2日

クラスでは英語厳禁。「日本の女性の生き方」や「カ

「タカナは必要か」等をテーマにした授業が印象深い。先生と学生達の何気ない会話の中に、3年間の授業で培った信頼関係が垣間見え、何ともほほえましく感じられた。



3年生授業風景

③ ボランティアの内容

月曜から木曜まで合計24コマの授業に参加した。宿題の返却をしながら学生の名前を覚え、会話練習の相手や発音の訂正などをした。ときには、日本人としての意見を求められ、自分なりの考えや感想を述べることもあった。どのような意見であっても、先生方は適切に教材として使ってくださいました。

④ その他の活動

◇ ラム・ウェルカム (ラムはCSUのマスコット)
新入生歓迎行事の一つで、学生による学科紹介の催し。ジャパンプラブの女子学生にゆかたを着付けるパフォーマンスも行った。



新入生歓迎行事 (ラム・ウェルカム)

◇ 花金チャット

隔週金曜日に2年生のために、「花金チャット」が開かれる。日本語クラスの2年生有志、先生方、日本からの留学生、そして私たちが参加し、日本語の会話を楽しんだ。

◇ ランゲージキャンプ

CSUの学生寮に日本語クラスの学生と日本からの留学生が集い、ゲームや食事をともにして楽しく交流した。FC在住の日本人ボランティアさんたちとともに、親子どんぶりとぜんざいを作った。いずれも学生たちに大変好評であった。



おにぎりの作り方教室

◇ フィルムナイト

宮崎吾朗監督の映画『コクリコ坂から』視聴。映画は、日本語版英語字幕付きで、日本語学習の観点から見ると、話し言葉の復習に適していると思った。

アメリカンパワー再認識

アパートの前で貨物輸送用鉄道の線路取替え工事が行われていた。その進捗の早さに仰天。巨大な各種の工事車両や工事専用自動車が入れかわりやってくる。整地作業から3日後には線路敷設が完了し、試運転列車が現れた。踏み切り工事・道路工事などに大小100種類を超える工事車が出現し、毎日それらを見るのが楽しみだった。パワーとスピードには、たまげた！これがアメリカか。

おわりに

生活面で特に不自由なことはなかったが、バス以外の公共交通機関がないのが不便であった。そのバスも午後6時以降は便がなく、日曜日は運休。マウンテンバイクを貸してくださったアパートのオーナーには本当に感謝している。おかげで行動範囲がグリーンと広がり、郊外まで出かけることができたのだから。

多くの方々のおかげでCSUボランティア生活とともに充実の日々を過ごすことができた。

CSUの先生方、日本食料品店「East West Imports」の店員の皆さん、そしてあなたがたのパワーをいただき、少し若返ることができたCSUの学生の皆さんにお礼を申し上げたい。ありがとうございました。